統計力学1第3回練習問題

- 1. 大きさ $L \times L \times L$ の箱に閉じ込められている質量 m の粒子のエネルギー固有値を Schrodinger 方程式より導け。(離散変数 $n_x, n_y, n_z (=1, 2, 3, 4, ...)$) を用いて表せ)
- 2. 1の結果を用いてこの粒子のエネルギー ϵ が E よりも小さいとした時の粒子の取りうる状態の数を求めよ。 $2\pi\hbar/L$ が十分小さく、 $2\pi\hbar n_{\alpha}/L$ を連続値としてみなしてよい。
- 3. 2 の結果を用いて、粒子のエネルギーが E E + dE の間にある時の状態数を dE について 1 次のオーダーまでで表せ。またその結果を dE で割った状態密度 W(E) を書いてみよ。
- 4. 同様の箱にお互いが相互作用しない粒子が N 個入っている時の、状態数・状態密度を計算せよ。(N 次元の半径 r の球の体積が $2\pi^{N/2}/N\Gamma(N/2)r^N$ と書けることを用いて良い。 Γ はガンマ関数である。(定義を知らなければ調べて書いてみよう。)) ここで N 個の粒子は互いに区別しないとして計算せよ。
- 5. 4の問題設定において、エントロピーを $S(E)=k_B\log[W(E)]$ とおき、N が十分大きいとして N の一番大きなオーダーのみ考えた時、理想気体のエネルギーE が $E=\frac{3}{2}Nk_BT$ で与えられる事を示せ。

右辺は十分大きい時、①を活たり(n,n,n,n)の個数は一半径(2mlを上)の取の第1家限の(表面で個数の話差が生じるが・〇Cr2))体積(音・紫水)(海いので・ てが)、個数の〇(ように対して気視できる)

 $\Rightarrow \Omega(E) = \frac{1}{6\pi} \pi \left(\frac{2m^2}{\pi^2 h^2} E \right)^{\frac{1}{2}} = \frac{1}{6\pi^2} \cdot \left(\frac{2m}{h^2} \right)^{\frac{3}{2}} \cdot V \cdot E^{\frac{3}{2}}$

(3)
$$\Omega (E+dE) = \frac{1}{6\pi^2} \left(\frac{1}{4\pi^2} \right)^{\frac{3}{2}} E^{\frac{3}{2}} \left(1 + \frac{dE}{dE} \right)^{\frac{3}{2}}$$

$$= \Omega (E) \cdot \left(1 + \frac{3}{2} \frac{dE}{dE} \right)$$

$$= \frac{1}{4\pi^2} \left(\frac{1}{4\pi^2} \right)^{\frac{3}{2}} E^{\frac{1}{2}} \left(1 + \frac{dE}{dE} \right)^{\frac{3}{2}} E^{\frac{1}{2}}$$

$$= \frac{1}{4\pi^2} \left(\frac{1}{4\pi^2} \right)^{\frac{3}{2}} E^{\frac{1}{2}} \left(1 + \frac{dE}{dE} \right)^{\frac{3}{2}} E^{\frac{1}{2}}$$

 $(5) \frac{S(E)}{R_8} = \ln W(E)$ $= \frac{2N}{2} \left[\ln \left(\frac{m}{2\pi f^2} \cdot E \right) - \left(\ln \frac{3N}{2} - I \right) \right] - N \left(\ln N - I \right) + N \ln V$ $= \frac{3N}{2} \ln \left(\frac{m}{3\pi f^2} \cdot \frac{E}{N} \right) + N \ln \frac{V}{N}$

ds = 3NRs = 1 = 3 NRsT